

岸和田市立社会体育施設再編 第1期実施計画説明会

令和5年11月
岸和田市教育委員会

本市の社会体育施設について

① 体育館等

総合体育館、中央体育館、市民道場心技館

② 市民プール

12プール

③ 運動広場等

運動広場5か所（有料）、青少年広場8か所（無料）、
テニスコート4か所（有料）

老朽化が著しく、利用者の安全・安心を担保する上で課題を抱える施設が少なくない

※全32施設のうち、84.4%にあたる27施設が築40年以上経過

令和3年3月 「岸和田市立社会体育施設再編基本方針」を策定

岸和田市立社会体育施設再編基本方針について

人口減少、少子高齢化の進展、民間事業者の進出、施設の老朽化、
厳しい財政状況… 社会体育施設を取り巻く環境が大きく変化



利用者の安全・安心を最優先に、施設の機能を十分に果たしていく
ためには、効率的、効果的な運営への転換や再編整備が必要

① 体育館等、② 市民プール、③ 運動広場等に分けて再編を進めます。

① 体育館等

総合体育館…全市域的施設として今後も積極的に活用、本市のスポーツの拠点施設としての価値を高めていきます。

中央体育館…老朽化が著しく、耐震性に欠けることから、他施設との複合化も含め、そのありかたを検討します。

市民道場心技館…老朽化が著しく進行し、耐震性にも課題があり、トイレや更衣室等の設備も十分でないため、総合体育館の武道場への機能集約も含めてあり方を検討します。

②市民プール

老朽化が著しく進行し、適正な管理・運営や安全性を確保するためのコストが増大していることから、次の措置を講じつつ順次廃止します。

一般利用者について…全市域的施設である中央公園プールに利用者を集約していきます。

学校水泳授業について…屋内プールで授業を行う民間委託化を推進します。

③運動広場等

運動広場・テニスコートについて…利用者数が低位に推移しているため適正規模となるよう総量削減を検討します。

青少年広場について…周辺同種施設の有無、利用状況、管理にかかるコストとの費用対効果、他施設の再編整備状況、代替可能施設の有無など総合的に勘案して、存否の決定を行います。

岸和田市立社会体育施設再編 第1期実施計画

令和5年10月
岸和田市教育委員会

第1章 計画策定の趣旨・位置づけ

1. 計画策定の趣旨

再編実施計画とは

岸和田市立社会体育施設再編基本方針に基づき、具体的な再編の進め方を示すもの

- 個別の施設ごとに再編計画を作成

「体育館等」「市民プール」「運動広場等」に分類して計画を作成

- 特に対策が急がれる市民道場心技館から

築後62年を経過し、耐震性のない市民道場心技館を第1期実施計の対象に

2. 計画の位置付けと計画期間

岸和田市公共施設最適化計画
(令和7年度まで)

岸和田市公共施設等総合管理計画
(令和17年度まで)

第1期実施計画
(令和5年度～令和7年度)

第2期実施計画
(令和8年度～令和17年度)

市民道場心技館

体育館等

市民プール

運動広場等

背景

高度経済成長期の人口増加・行政需要の増大 → 多くの施設を建設
整備後 30 年以上が経過 → 施設の保全に係る多額の経費が必要
人口減少・少子高齢化の進行 → 大幅な税込の増加が見込めない



保全費用の確保、老朽化した施設の更新や維持管理の継続が課題

岸和田市公共施設等総合管理計画

本市が所有する全ての公共施設を対象に
4つの方針に沿って各施設の方向性を提示

- 計画的保全による長寿命化の推進
- 施設保有量の適正化
- 地域の特性やまちづくりと連動したマネジメントの推進
- 効果的・効率的な維持管理・運営の実現

岸和田市公共施設最適化計画

建築物系の施設全般を対象に、再配置の方向性を提示（再配置になじみにくい庁舎等を除く）

- 目標耐用年数 **65年**
- 施設の機能を重視した再配置により、
令和7年度までに床面積の**約3%を削減**
令和17年度までに床面積の**約30%を削減**

第2章 心技館の現状と課題

I 心技館の現状

広く市民、特に青少年の心身の修練を図ることを目的とした武道施設で、年間約14,000人（令和4年度）の利用者がいますが、このうち12,284人は市の事業の武道教室を含む心技館の指定管理者である市民道場心技会の利用となっています。

建設年	延床面積 (㎡)	構造	利用状況(利用者数:人)					
			H29	H30	R1	R2	R3	R4
S36 (1961)	419.83	RC造	17,321	15,413	12,826	10,604	10,267	14,306

主な利用内訳

- ① 武道教室…指定管理者（市民道場心技会）を通じて実施する市の事業
- ② 市民道場心技会の事業
- ③ 貸館事業

1. 貸館事業

令和4年度の貸館利用人数2,022人のうち、武道を目的とした貸館事業の利用者は、91人と全体の4.5%に止まっています。

令和4年度の貸館事業の利用人数

	利用人数 (人)	貸館利用人数に 占める割合(%)	備 考
岸和田市青少年育成事業子ども居場所教室	819	40.5	令和5年度利用なし
民間児童施設	1,009	49.9	令和5年度利用なし
大阪体育大学子ども体操教室	103	5.1	
武道を目的とした団体	91	4.5	
合 計	2,022	100.0	

2. 稼働率

- 17時以降の稼働率は、市の事業である武道教室が大半を占める。
- 全時間帯の稼働率は、総合体育館の各施設の稼働率に比べて極めて低い。

令和4年度で最も利用人数が多かった11月と令和元年11月の稼働率

箇所	全時間帯			うち 17時～21時			うち 19時～21時		
	R1年 11月	R4年 11月	平均	R1年 11月	R4年 11月	平均	R1年 11月	R4年 11月	平均
心技館	26.1	22.5	24.3	44.1	43.3	43.7	83.3	80.0	81.7
(うち武道教室)	12.2	13.3	12.3	36.7	40.0	38.4	73.3	80.0	76.7
(うち武道教室以外)	13.9	9.2	12.0	7.4	3.3	5.3	10.0	0	5.0
総合体育館(メインアリーナ)	60.2	69.1	64.7	64.4	80.2	72.3	73.8	96.5	85.2
総合体育館(サブアリーナ)	71.3	72.0	71.7	83.6	78.1	80.9	86.9	89.6	88.3
総合体育館(武道場)	55.4	47.9	51.7	36.3	44.3	40.3	65.1	82.3	73.7

Ⅱ 心技館の課題

●老朽化

昭和36(1961)年に建築され、「岸和田市公共施設最適化計画」において建築物の目標耐用年数とされる「65年」が迫っています。

●耐震性

平成25(2013)年度に実施した耐震診断の結果、耐震性に欠けることが明らかになっています。地震による倒壊や崩壊の危険性があります。

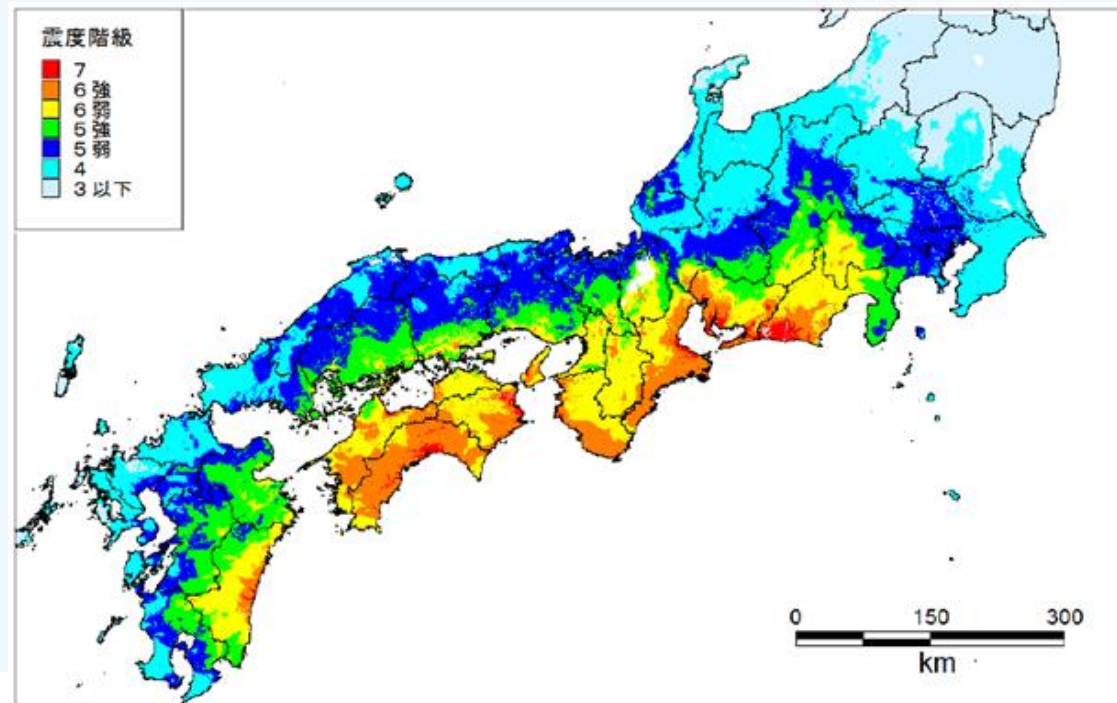
●設備面

バリアフリーではなく、トイレ及びシャワー室が男女共用であるなど、設備上も大きな課題を有しています。

南海トラフ地震で想定される震度

政府の中央防災会議による被害想定。

静岡県から宮崎県にかけての一部では震度7となる可能性があるほか、それに隣接する周辺の広い地域では震度6強から6弱の強い揺れになると想定されています。



耐震性について

耐震診断目標値 $I_s \geq 0.60$ かつ $CTU \cdot SD \geq 0.3$

平成25(2013)年度実施の心技館の診断結果… 目標値を満たしていない

① I_s (構造耐震指標) … 目標値は0.60以上

心技館は東西方向は1.13ですが、南北方向が0.15で目標値を満たしていないだけでなく、大規模地震により、倒壊や崩壊の危険性が高い建物とされる0.3を下回っています。

② $CTU \cdot SD$ … 目標値は0.3以上

心技館は東西方向が1.22ですが、南北方向は0.06で目標値を満たしていません。

心技館は、耐震性に欠け、地震による倒壊や崩壊の危険があります。

第3章 再編の進め方

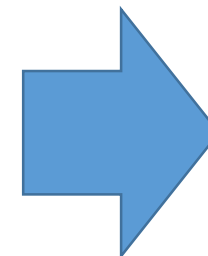
他の社会体育施設等への機能移転について

総合体育館

武道場の全時間帯における稼働率は51.7%

市内の中学校にある柔道場や剣道場

学校体育施設開放事業の利用状況に余裕がある



武道教室や一般利用の活動の場の確保が可能

資料 市立中学校の附帯施設の設置状況

(注) 夜間中学があるため開放事業は未実施

	岸城	光陽	野村	桜台	葛城	土生	久米田	山直	春木	北	山滝
柔道場	○(注)	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×
剣道場	○(注)	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×
柔剣道場	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○

総合体育館や学校施設を活用して、武道教室や一般利用の活動の場を確保することにより、市民道場心技館は、令和5年度末をもって供用を廃止します。

史跡保護(※)の観点から建物は撤去します。

※史跡保護

市民道場心技館が立地する石垣は、大阪府指定の史跡(文化財)です。

ご清聴ありがとうございました。

ご意見やご質問がありましたら、11月末日までにFAXまたはメールで事務局へお寄せください。

いただいたご意見やご質問につきましては、市・市教育委員会の見解や回答とともに後日、概要を市のホームページで公表させていただきます。

【あて先】

岸和田市教育委員会スポーツ振興課

FAX (072) 423-5030

E-mail sports@city.kishiwada.osaka.jp